

## デビューレースを23台中の13位で完走!!

参戦発表から10日で迎えたポッカ GT サマースペシャル。チームには何もかもが不足していたが、それでも燃え盛る情熱だけを胸に秘め、アールキューズ(代表・和田久)のメンバー達は鈴鹿へと集結した。



### ●公式練習がシェイクダウン

連日のハードワークは走行直前まで続いたが、それでもマシンは走り出し、順調に周回を重ねていく。1時間45分のセッションをフルに走り込み、最後には何とかブービー賞目前にまで追いついた。

### ●公式予選

予選中も懸命なセットアップ作業は続き、終盤には阪口良平が乗り組んでアタックを行ったが、結果は最後尾に終わった。とにかくストレートスピードの遅さが絶望的で、同じ300クラスのマシンに比べても20km/h以上も遅いため、他チームより危険だとの指摘もあった。リストラクター径の救済を求めたい。

### ●決勝レース

やがて迎えた決勝レース、スタートドライバーは和田久。安定したラップを重ねていたが、24周目に突然ガス欠症状が出て緊急ピットイン、阪口に交代する。その阪口にも23周でガス欠症状が出て、Guts 城内へと交代したが、どうやら燃料ポンプの一つが不調で最後まで燃料を吸い上げきれず、最後はストレート上でストップしてしまう。非常用ポンプを作動させた城内は何とかピットまで帰り着き、ラストは再び阪口がハンドルを握ってゴールを目指す。安全策を取って途中で追加の燃料補給も行き、何とかチェッカーを迎えた時には、何とか13位にまで順位が上がっていた。ご声援いただいた皆様、有り難うございました。